



北京世界女性会議とNGO  
NGO活動(40年間)から学んだこと

船橋邦子

# 北京世界女性会議の特色

- アジアではじめての史上最大規模の国連世界女性会議
  - 準備のプロセスを重視した会議
  - NGOが最大限のパワーを発揮した会議
  - 冷戦後の国連による会議の集大成の会議
  - 最も包括的で高い水準の「行動綱領」を採択した会議
  - 女性運動、政府、自治体の女性政策に大きな影響を与えた会議
- 

# 女性NGOフォーラム北京'95の意味

- 目的  
行動綱領に影響を与える

政府間会議でのロビー活動

ECOSOC資格をもつ以外の団体も認定

日本からは23団体、約300人

北京JAC (Japan Accountability Caucus)の発足

- 女性ひとりひとりのエンパワー→主体性の形成
- 女性運動の強化・広がり



# NGOは変革の主体

## —モンゲラ北京会議事務局長のスピーチ

「NGOの女性が世界で動いています。無数の声なき声を代弁し、一人ひとりの女性や少女に接するNGOこそ重要な行為者であり、変革の主体です。(略)

行動綱領作成にNGOの参加は不可欠です。

NGOは、その作成過程を民主化する力なのです」

(1995年3月国連女性の地位委員会での開会の辞より)



# 北京世界女性会議へのコミットメント

## ○ アジア女性会議ネットワーク

※ コーディネーターとしてNGOレポート策定準備過程に参加

※ NGOフォーラム 8つのワークショップ

（「慰安婦」問題

踊りVampire Shock (搾取者、吸血鬼との闘い)

演劇 「りりすの足」(日本女性の抑圧的状况)他

※ 「アジア平和国民基金」(「慰安婦」問題民間基金)反対署名  
(英・中・韓・日) 2700筆集め日本政府に提出

※ 政府間会議にオブザーバーとして参加

日本政府との意見交換会のおよびかけ・参加

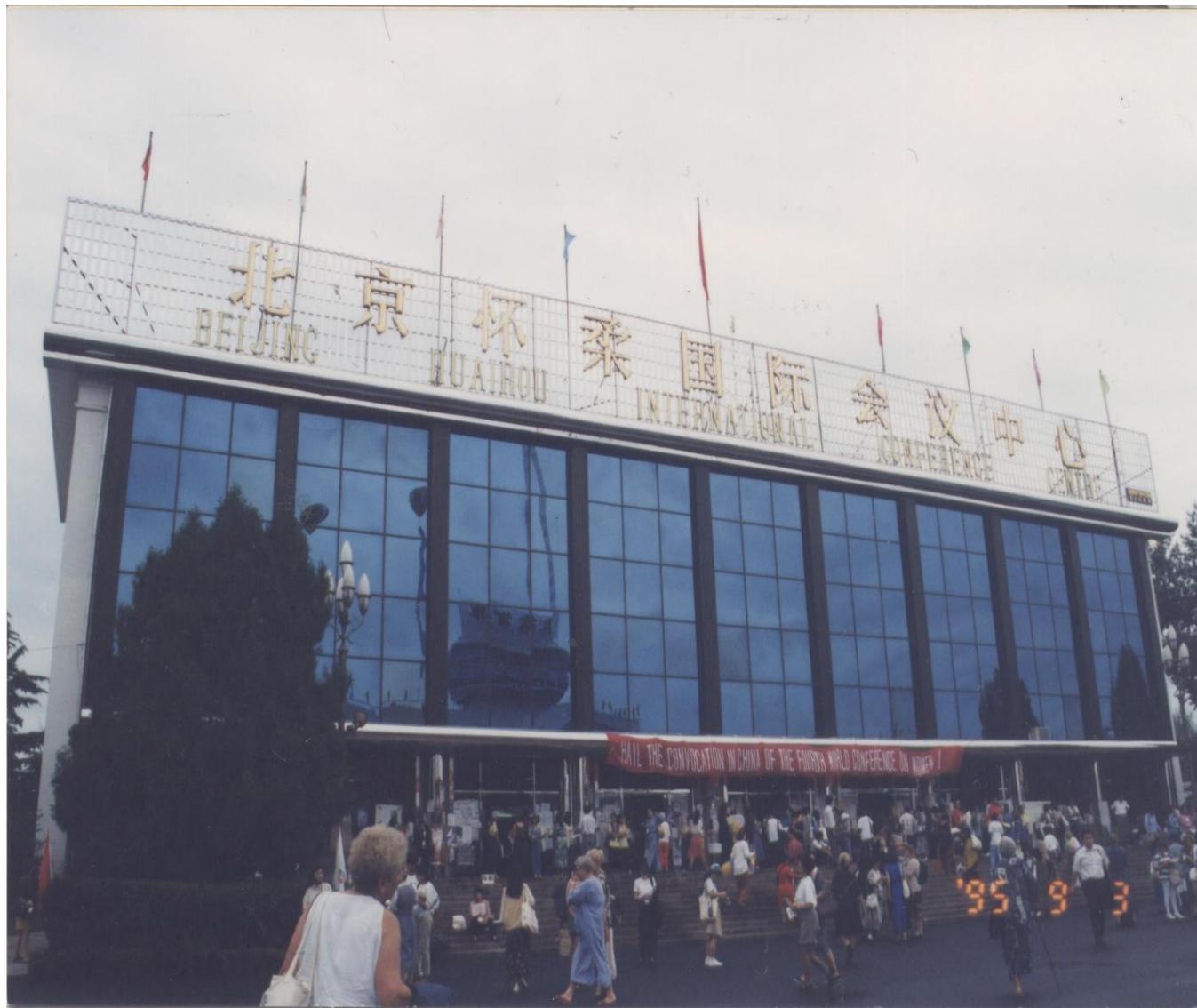
→北京JAC発足



# 行動綱領にNGOの声を 策定過程への参加

- 国連地域委員会(5地域)が地域別準備会合
- アジア・太平洋地域 会合(1993.11 )
- 女性と開発に関するアジア太平洋NGOシンポジウム  
主催:国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP)  
フィリピン女性の役割に関する全国委員会
- アジア太平洋地域会合 ジャカルタ会議(94. 6)
- 第1回東アジア女性フォーラム@かながわ女性センター(94. 10)
- アジア太平洋NGO・WG バンコク会議(94. 11)
- 国連女性の地位委員会(95. 3)
- 北京世界女性会議に提言する会(95. 4)
- 「北京女性会議に向けて日本の女たちの提言」シンポジウム  
(95.7.1)

# 北京世界女性会議-女性NGOフォーラム会場



# 北京世界女性会議—女性NGOフォーラム 女性たちの平和パレード



# 北京世界女性会議-女性NGOフォーラム フランス核実験に抗議して



# これからの課題

## ○ 川下の運動から

DV難民をへらすこと

DVと児童虐待の取組みの一体化

高齢単身女性の貧困問題

## 川上の運動から(北京JACの活動から)

地域のジェンダー平等と多様性の尊重の推進

地域・政府—ジェンダー平等意識のある女性議員を  
増やす

見えにくい女性の貧困(特に高齢単身女性の貧困)

ジェンダー統計の整備

金儲け主義の社会から持続可能な社会

(誰をも取り残さない社会)への変革



# NGO活動から学んだこと—運動を広げるために

- ネットワークの強さ・広げるために  
大同小異（目的が同じなら意見の違い境界線を超える）  
SNS時代—やっぱり、顔の見える関係が大切
- 人との出会いを生きる力に  
（行動することが生きること、行動は出会いを広げる）
- 尊敬する先輩女性との出会い  
加藤シヅエさん、土井たかこさん、清水澄子さん  
松井やよりさん、原ひろ子さん
- 尊敬する先輩から学んだリーダーとは  
メンバーへの影響力があり、信頼があり、一緒にいて楽しく、  
自分の可能性を引き出してくれる人

